

令和元年秋期 金沢シーサイドタウン地区推進連絡会要旨

1 日時

令和元年 11月6日(水) 19:00~21:00

2 場所

金沢シーサイドタウン連合自治会館

3 参加者

合計 42名

(地域側)

自治会等地域団体関係 22名

(支援チーム、その他行政側)

区役所 14名

区社協、並木ケアプラザ、富岡東ケアプラザ 6名

<要旨>

1 あいさつ

金沢シーサイドタウン連合自治会

金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会 会長 増田 一行

2 区長あいさつ

金沢区長 國原 章弘

「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らし続けるために」をテーマに講話

3 意見交換(「次代を担う人材をどう巻き込むか」をテーマに意見交換)

(1) テーマに関する趣旨説明(地区社会福祉協議会 事務局長 三輪 くみこ)

- ・地域活動に若い人材を巻き込みたいところだがなかなか難しい。若い人を巻き込もうとするだけではなく、リタイアした人を巻き込むことも必要ではないか。
- ・本日は地域活動をされている方に集まっていたが、何がきっかけで地域活動をするようになったか、意見交換を通してヒントを見つけていただきたい。

(2) 令和元年度区民意識調査の結果(抜粋)(金沢区福祉保健課 課長 高橋 馨)

(3) 意見交換要旨

【Aグループ】

○役員になったきっかけ

- ・シニアクラブへの参加。
- ・ボランティアを始めたことにより参加した。
- ・居住団地の輪番制により参加した。
- ・昔、車の車両数に対して駐車場が少なく、路上駐車が増加した背景からカークラブを設立した。カークラブへの参加が役員を始めるきっかけ。
- ・子どもが障害を抱えており小学校を転校したことにより人脈があること、福祉の知識があるということがきっかけで参加した。
- ・前会長より推薦されたことをきっかけに参加した。

○次代を担う人材をどう巻き込むか

- ・老人会では女性が会長のクラブの会員数が増加している。そのため、今後は女性を多く巻き込んでいくことが大切ではないか。

- ・男性会員が多いクラブの方が女性会員の多いクラブに比べて活動が活発なのではないか。また、現在は働いている女性が昔に比べて増加している。子育て、仕事をしていると役員に参加する時間がない。
- ・参加することによって嬉しい気持ちもあり、自分自身のためになると思われる。
- ・現在の役員の方たちは若い時から役員をしていたため、若いからできないということはない。
- ・現在、若者人口が減少していることもあり、次世代の人材が余計に見つかりにくいのではないか。
- ・役員をしている時は積極的に動いてくれたりしているが、役員が終わると継続して参加してくれない。定着することが難しい。
- ・男性に関してはイベント等を終えた時に反省会（飲み会）を行うと「困ったときには手伝いますよ」といった声も聞く。
- ・若い世代が何か発言すると役員に頭から否定をされてしまうことがある。受け入れる役員側にも若い世代を受け入れる雰囲気づくりをすることが大切。
- ・自治会町内会に入って顔をつなぐことが大切。
- ・防災という点では若い世代も参加しているため意欲的になっていくのではないか。
- ・年配者だけでは活動の継続はできるが新しいことを行うのは難しい。若い世代が参加して新しい発想が必要になってくる。
- ・自治会町内会に参加しなくてもイベント等に参加してもらっただけでも違う。
- ・全てを任せることは重荷になってしまうのではないか。若い世代が入り、SNS等から発信してくれるだけでも活動を知るきっかけ作りになり、若い世代が興味を持ってくれる。
- ・どうやって皆が興味をもつ活動を行えるかが大切。「餅つき」「お祭り」は巻き込むチャンス。お祭りに関しては土曜開催、日曜片付けのように比較的参加できるように工夫していくことが必要。
- ・今の若い世代は昔より仕事が忙しい。そのため時間や曜日など配慮していくことが大切。
- ・仕事も定年が延びている背景もあることから委員会の定年制についても年齢を5歳ほど延ばしていくことも検討した方が良いのではないか。リタイア組の巻き込みには委員会の定年延長が必要ではないか。
- ・役員側も含めて全員がイベント・委員会などの役員に参加することによって、その人の生活のどこかが犠牲になっているという意識を持つことが大事である。
- ・自分自身では「やる」という意識が感じられず、行動に移すことができない人が多くなっていくように感じる。

【Bグループ】

○役員になったきっかけ、ボランティアを始めたきっかけ、始めた時の気持ち

- ・「リタイアしたらボランティアをしたい」「活動するなら人のためになることをしたい」と思っていた。麻雀や囲碁の相手のボランティアでは、“できること・得意なこと・趣味が活きる活動”を行うことができた。
- ・仕事をしていて地域のことを知らなかったので、「地域のことを知りたい、ためになることをしたい」と思いボランティアを始めた。
- ・きっかけはくじ引きだったが、子どもが地域に馴染むことができ覚えてもらえることはいいことだと感じることができ、役員を続けている。

- ・地域の活動をしてみて、回覧板だけでは分からなかった地域の祭りや地区社会福祉協議会の活動が見えてきたことが良かったので役員を続けている。今の活動をしていなければ何をしてもよいか分からなかったかもしれないと思う。今はこの活動があって、役員をしていて良かったと感じている。
- ・ソフトボール等の監督をすることから地域に入り、管理組合や自治会町内会の活動につながった。
- ・声をかけてもらったことで始めた。人前に出て話すことより、パソコンで記録すること、自分のできることから始められるように配慮してもらった。役員の活動を続けたことで、できることが増えたように思う。顔見知りの方から声をかけてもらえたことが良かった。

○続けて良かったこと

- ・「自分が楽しいと相手も楽しい」という気持ちで続けている。ウォーキングでただ歩くだけでなく、ゴミを拾いながら歩くようになったことをはじめ、ボランティアをしたことで、今まで気にならなかったことにも気づき、視野が広がり他の視点を持つことができたように感じる。
- ・誰でも交流できる場所を通して、人に接すること、その人の反応や喜んでもらえることが嬉しいので続けられている。
- ・「楽しくないと続かない、楽しくさせることが大切」という気持ちで行っている。居心地の良い場所を作っていきたい。
- ・大変だったが10年続けることで基盤ができた。「誰かのためにが自分のためになっている」と感じている。
- ・人と話すことは得意でないと考えていたが、人と話すことが自分自身の病気等の予防にもつながっていると感じ、人との出会いがあることがとても良かった。

○活動をして感じたこと、今後どんなことがあるといいと思うか

- ・やる側と集める側の視点で必要なことがあると思う。
やる側は“やってみよう”という気持ちになるきっかけが必要なため、“自分が出来る活動を選べること、何があるのか、何をするのか具体的に知ることができる機会”が大切だと思う。その周知には、これからは“回覧版だけでないPRの工夫”も必要ではないかと思う。集める側は、やりたいと思って集まった人でも、時間が経つと何をするのかハッキリしなくなることや、こんなはずではなかったという思いになることもあるため、気持ちをつなげるためにも、何をするのか確認していく等、活動の見守りやフォローの機会があると良いのではないかと思う。
- ・活動の中から、一人暮らしの人の困りごとや、今役員に必要とされていること等を感じている。
- ・今あるコミュニティを大切に、その中に入りこんで伝えていくこと、今ある活動に入っで見つけることも大切ではないかと思う。SNS等を活用し発信できる母たちもいるので、その部分から協力してもらおう活動やできることはないかと思う。
- ・始めてみなければ地域の活動が分からなかったため、きっかけが大切と感じた。若い人も入るきっかけが無いままだと、“何かやっているけど何をしているのか見えない”という状況になってしまうと思うので、きっかけを作ることが大切だと思う。

- ・若い人が参加するきっかけとして、バーベキュー大会を考えている。この人だと思う人には、隣に座って話すことから始めて、時間をかけて一本釣りしていくことも大切だと思う。
- ・団地内の縦（居住階の上下）の協力関係や横の付き合い、近所と仲良くなることが防災にもつながると聞いた。エレベーターが止まると下の階の掲示板まで行かないと復旧の様子等の状況が分からない。各階に分かるようになって良いが、災害時の情報共有等からのつながり、SNS やメールの使用を考える点から若い人に入ってもらえないかと思う。
- ・「防災からのつながり作り」は、若い人でも意識を持った人が集まってくれると思う。
- ・きっかけとして、気楽に始められるボランティアがあるといいと思う。

【Cグループ】

○始めたきっかけ

- ・前任が辞めた際、会長から頼まれた。
- ・活動内容に興味があったため並木男声合唱隊に入団した。
- ・知人から誘われ、最初は嫌々ながら始めた。
- ・主任児童委員を引き受けるきっかけは子どもが好きだったし、子どものことに関われるからと考えたから。
- ・地域のサロンで地域食堂や人形劇の活動を行っている。元々、学童保育で一緒に働いていた方といっしょに活動を始めた。同じマンションの友人という関係。無理のない範囲で活動することでお互い了解している。あまり仲間が多すぎても活動に支障がでる。最初は4人で今は5人。学校の同級生がいたり、料理の得意な人がいたり、今までのつながりから仲間ができた。

○活動の際に大切にしていること

- ・家族を犠牲にした活動はしないようにし、家族にも理解してもらいながら活動をする。
- ・大切なことは楽しんで活動を続けていくこと。
- ・機会があればまずは活動してみる。

○活動してみて感じたこと

- ・活動先で人間関係につながりでき、他の活動も始めている。
- ・男性は仕事以外の関係性が少ないことが多く、地域活動で人間関係の幅が広がった。
- ・活動後の懇親会・飲み会等のコミュニケーションが楽しいと感じている。
- ・ひとつのことがきっかけで他のことにも興味が出てくる場合がある。

○参加してもらうための工夫

- ・将来を見据えて関わりを継続する等、地道な種まきを続けている。
- ・積極的な声掛け、情報発信の機会を多く設けることが必要。
- ・合唱団の公開練習に参加して合唱団活動に参加してくれた方がいた。情報発信だけでなく、実体験の場を設けることも必要ではないかと思う。

4 閉会の挨拶

金沢シーサイドタウン連合自治会

金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会 副会長 金沢 政行